

みなしご通信



伊豆大島

去年のこと、みなしごこ

子を26匹も預かって、きちんと飼養管理してくれている三木さんから「伊豆大島TNRをやって欲しい」と頼まれ「そんなにヒドい状況なら1日でも早くやりましょう」と話していた矢先に伊豆大島土砂災害が起こり落ち着くまで延期。

伊豆大島が落ち着き始めたころみなしごこの子の里親田村さんも加わり町役場に掛け合うなど尽力してくれて、11月11日・12日の伊豆大島TNR一斉は実現しました。

好きなだけ猫を捕まえて傷病を治してTNRできる幸せ。これはすべて後方支援隊の方々のお蔭です。伊豆大島しっぽの会制作の募金箱にいい言葉が書いてあ

りました。そうです。その通りです。1匹でも多くの

次の猫たちの幸せのために！
募金のお願い
 今回の伊豆大島の猫たちの無料不妊去勢手術は、全国の皆さんからの募金・寄付金でまかなわれています！伊豆大島の次に、また別の地域の野良猫たちもこうして手術を受けられるよう、伊豆大島から「ありがとう！」の気持ちを届けませんか？

猫たちに傷病の手当やTNRができるようこれからもよろしくお願ひします。

今回は教室内を猫の待機場廊下手術を手術場として設定しました。私たちのTNR一斉に対し一部儲け主義の獣医師が根も葉もな



いつまらん中傷的発言をしたりしますが、これまで私たちと関わった全国の猫の餌やりさんたちは「また来てください」と言います。

そのウワサを聞いた全国の猫の餌やりさんたちが私たちのTNR一斉を熱望しています。この傷で子宮と卵巣を摘出するわけですから、当然餌やり



さんは喜びますよね。私たちはTNR一斉のいいところは不妊手術だけでなく可能な限りの他の傷病も治す点です「傷ができていたけどもう治った」と餌やりさんは言いましたが、偽女医の中谷的にはニオイがあやしかったので毛を剃ってカサブタを取って見たらほら、やっぱり。肉が腐って骨が出ていました。稲葉先生に断尾してもらいました。

「骨折してるけどじょうずに歩くの」と、餌やりさん「そんなことはない」よく見てみると足先は地面にこすれ破けてはコブになり繰り返り返していたようで「稲葉先生くっこの子は断脚してください」これでもうどこにも引つかからないで

歩けるよ。私たちが町役場立ち合いのもと時間をかけて捕まえた子たちも手術が終わりしました。伊豆大島TNRは150匹の完全予約制でしたが、私がルールを守らないので増えちゃって予備のワクチンもなくなつて、急ぎよ、電話して「今晚のうちに山口先生の病院に行つてワクチンとレボリユーションとフロントラインと抗生剤等を受け取つて明日の朝の船でここまで持つて来て！」私とちばわんの桂代ちゃんは何年もうまくい

てる要因は2人とも目の前の命に対して助けることしか考えないからです。私たちは助けた後で「中谷さんお金持つてる？」「私はないよ！」「どうする？」「どくにかなるって！」「そうよね♪」いつもこれです。無計画なようですが、私たちには言葉で表せられない自信があります。小さい子に不妊手術を施したら成長が止まるとか言う人がいますが、実際ウチの子は止まっていませんしそんな

甘いことを言うていたら不幸な出産が起きるだけ理想論では野良猫を助けることはできないのです。伊豆大島TNR私のせいで予定数を50匹以上オーバーして無事終了。伊豆大島にも半額出る助成金制度があります。が半額出ても15000円の自腹だそうでなかなか進まないそうです。もつたない。その助成金私に託してくれたら結果はありありするのに。またいつかTNR一斉をやりたいまじょう♪ありがとう伊豆大島。福島の子どもをこころよく預かって



てくれてる伊豆大島の人たちに少しは恩返しができるかな。



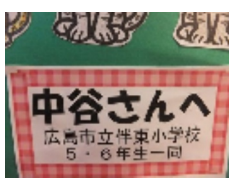
心の参観日

11月13日(木) P M 3時〜広島市立伴東小学校 5・6年生の児童たちに道徳の授業の一環(みんなが語る)心の参観日』に講師として参加させていただきました。もとより動物愛護は子どもから強く思っている動物愛護家の私にとって子ども対象の講演依頼は何よりも嬉しいことです。私の話はどこで話すときも同じこと、台本なんてありません。どこで講演をする時も講演内容はまったく決めておらず「初めまして、私は犬猫みなしご救援隊の中谷です」と言った後になんとなく始まるわけですが、今回はあらかじめ6年生たちが私が書いた【鼓動】を読んでもらっていたので東日本大震災による福島の被災動物の話からいつも通りいろんな話に脱線してつて感じでした。小学校の高学年はとにかくなんでも吸収でき伸びしろがたくさんあり

ます。たった1年でも5年生と6年生じゃう〜う〜と違うんですよ。5年生は単純におもろく6年生はしっかりしとるので。1時間授業の中で1番盛り上がったの「それでは最後に私のブログに載せるからね一緒に写真を撮りましょう」と言つた時「ブログに載るんだって」ヒヤッホ〜ッ♪この時は割れんばかりの盛り上がりようでした(笑)記念撮影の前に「今日のこの素晴らしい話の感想文を宿題にするぞ〜」と言つたら「イヤだ〜ッ!」の雨嵐で子どもたちから猛反対されたのに翌々日先生が子どもたちからのひとことメッセージを届けてくださいました。言うちゃ〜なんです、伴東小学校は私を講師に選んでくださる学校です。校長先生の考え方も



教師の考え方も立派で私の方が逆に多くを学ばせていただき、ありがたかったです。階段室に張り出したらウチの者たちは立ち止まりながら一人ずつのメッセージを読んでます。最近の子どもは夢を持っていない子が多いので講演の終わりに「将来何になりたい?」と聞いたら6年生の男子が張り切つて手をあげて「中谷さんみーたいになりたいたい!」「ええ、なんでこんなオバンみたいになりたいの?」「カツコイイから!」子どもたちからのひとことメッセージにもそれが多く書いてあります。堂々としてるし「小さな命」を大切にすることはとてもいいことだしカッコいいなあと思



思いました。ありがたうございました。これからもがんばってください。中谷さんみーたいに大きく生きることを見習いたいです。大胆な人はカッコいいですね。不良でも小さな命を救えるカッコいい!髪の毛がサボサदैいつも同じ服を着ている太ったオバチャンでも子どもたちは「カツコイイ」と言ってくれる。少し照れませんがこれこそがまさに私が目標にしている人間像です。「人は心ぞ見てくれじゃない」少年少女よ人間も動物も小鳥も魚も虫も花もこの世に要らん命なんてひとつもないんよ。みんなたったひとつのかけがえのない命。みんなみんな親からもらった大切な命。



ご報告

皆さまへ。野良猫を守りたい一心でかねてより設立に向け動いておりました「全国野良猫対策連合会」が10月1日に設立され公式ホームページもできあが

りましたのでご報告させていただきます。設立理由など詳しいことはまた随時このブログでも書いていくと思

十二月の予定

- 北海道芦別【1〜6日】
- 栃木TNR【9日】
- 広島TNR学習会【27日】

NPO法人(特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信バックナンバー
みなしご公式ページ (http://www.minashigo.jp/newspaper/index.html)に掲載中。